

みずほCustomer Desk Report 2023/10/20 号 (As of 2023/10/19)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	149.89
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	149.78	1.0538	157.80	1.2143	0.6334
SYD-NY High	149.95	1.0617	158.90	1.2191	0.6357
SYD-NY Low	149.67	1.0528	157.70	1.2093	0.6296
NY 5:00 PM	149.79	1.0582	158.56	1.2139	0.6329
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,414.17	▲ 250.91	日本2年債	0.0800%	0.0200%
NASDAQ	13,186.18	▲ 128.13	日本10年債	0.8400%	0.0300%
S&P	4,278.00	▲ 36.60	米国2年債	5.1596%	▲0.0597%
日経平均	31,430.62	▲ 611.63	米国5年債	4.9521%	0.0219%
TOPIX	2,264.16	▲ 31.18	米国10年債	4.9888%	0.0792%
シカゴ日経先物	31,345.00	▲ 320.00	独10年債	2.9275%	0.0060%
ロンドンFT	7,499.53	▲ 88.47	英10年債	4.6510%	▲0.0070%
DAX	15,045.23	▲ 49.68	豪10年債	4.7750%	0.1170%
ハンセン指数	17,295.89	▲ 436.63	USDJPY 1M Vol	7.80%	▲0.10%
上海総合	3,005.39	▲ 53.32	USDJPY 3M Vol	8.59%	0.16%
NY金	1,980.50	12.20	USDJPY 6M Vol	9.11%	0.05%
WTI	88.37	1.10	USDJPY 1M 25RR	▲1.13%	Yen Call Over
CRB指数	287.34	1.51	EURJPY 3M Vol	9.23%	0.15%
ドルインデックス	106.25	▲ 0.31	EURJPY 6M Vol	9.75%	0.06%

東京	東京時間のドル円は149.78レベルでオープン。日本の9月貿易収支が予想外に黒字化したことや売りフローもあってか、オープン直後に下落する場面があったものの下値は149.67まで。ほどなくして値を戻し、149.84まで上昇したものの、依然として強い為替介入への警戒感からか上値は重く推移。その後はその他に材料のない中、149円台後半の狭いレンジ内での推移が続き、149.77レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円上値重く、欧州通貨は対ドルで上昇。ロンドン市場のドル円は、149.77レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく小幅推移。結局、149.86レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0535レベルでオープン。クロス円の上昇を伴って1.0563まで堅調に推移。結局、1.0558レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台後半でスタート。本邦9月貿易収支が黒字となった内容を受け円買いが進み、149.67まで下落。その後、149.80近辺を中心とした狭い値動きが続き、149.86レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数は予想より良好な内容となるも、米失業保険継続受給者数は予想より悪化し、強弱まちまちの結果となり、ドル円は反応薄。続いて発表された米9月中古住宅販売件数は予想を上回るも、特段大きな値動きは見られず。その後、注目のパウエルFRB議長の発言を控え、149.95まで上昇する。正午に行われたイベントにて、パウエルFRB議長の「FOMCはリスクや累積利上げを踏まえて慎重に進めている」、「力強い経済の追加証拠があれば利上げに値する可能性」等との発言を受け、利上げ期待が後退し、149.68まで売られる。しかし、続いて行われた質疑応答では「現在の政策、引き締め過ぎでないことは明らかだ」と追加利上げの選択肢も排除しないと思わせる発言を受け、149.90近辺まで買い戻される。その後は小幅反落し、149.80付近で小動きとなり、149.79レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05台半ばスタート。1.0530近辺でもみ合い後、欧州株高につれ高となり、小幅上昇し1.0558レベルでNYオープン。朝方は特段手がかり材料が無く、1.0570近辺を推移。午後は先述のパウエルFRB議長の発言を受け、1.0556から1.0617の間を上下する。その後独金利上昇が支援材料となり、1.0600丁度付近を推移し、その後1.0582レベルでクロス。

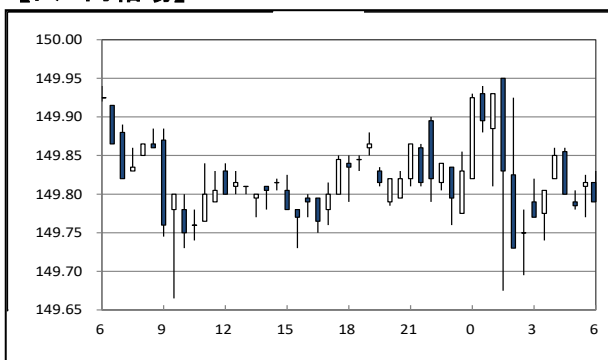
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月19日	08:50	日 貿易収支	9月 ¥62.4b	-¥451.5b
	09:30	豪 雇用者数変化	9月 6.7k	20.0k
	09:30	豪 失業率	9月 3.6%	3.7%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	14-Oct 198k	210k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	10月 -9	-7
	23:00	米 中古住宅販売件数	9月 3.96m	3.89m

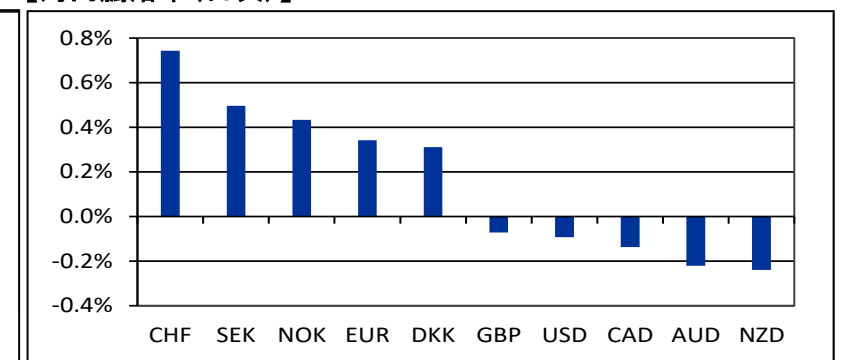
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月20日	08:30	日 全国CPI/コア/コアコア	9月 3%/2.7%/4.1%	3.2%/3.1%/4.3%
	15:00	独 PPI 前月比/前年比	9月 0.4%/-14.1%	0.3%/-12.6%
	15:00	英 小売売上高 除自動車燃料 前月比/前年比	9月 -0.4%/-0.3%	0.6%/-1.4%
	21:30	加 小売売上高 前月比	8月 -0.1%	0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.00-151.00	1.0500-1.0650	157.50-159.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は149円台後半にてもみ合いが継続した。欧州時間序盤は米長期金利の動向を横目に狭いレンジで一進一退。NY時間序盤は様々な指標が発表されまちまちの結果となったが、相場への影響は限定的となった。続く注目のパウエルFRB議長講演では、利上げへの慎重姿勢や地政学リスクが示されると一時ドル売りとなる場面が見られたが、インフレに対する警戒が示されると米金利の上昇を受けてドル/円も150円に迫る上昇を見せた。その後、終盤は小反落し149円台後半での推移を継続している。本日もドル/円は149円台後半を中心にもみ合いが継続すると予想。一方で、米長期金利が5%を目前に上昇基調にあり、5%の台に乗ればドル/円も150円を突破する契機となるか注目している。また、本日は注目指標の発表に欠け、また週末であるため、ポジション調整によるドル/円の下落にも警戒している。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：南野・田川